

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名：石岡市立杉並小学校 担当教諭名；阿部 彩子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成22年11月12日（金）10：30～13：30
対象学年と人数	体育館での交流 10：30～11：25 2・3・5年生（8クラス 253人） 11：25～12：10 1・4・6年生の交流（8クラス 245人） 各学級での交流 12：30～13：30
派遣講師名と出身国	JICA 研修員 11人、通訳 3人 ・ BATAKANWA Fredrick John（タンザニア）・MADYIRA Daniel（ジンバブエ） ・ MOGLO Koffi（トーゴ）・BUERNOR Solomon Teye（ガーナ） ・ KATO Ronald Jr. Kayizzi（ウガンダ） ・ ADHANA ABEBA ASEGEDE（エチオピア） ・ MD.SAIFUR RAHMAN JOARDER（バングラディッシュ） ・ DIPAK RANJAN BEHERA（インド）・ASIF MUHAMMAD（パキスタン） ・ IBRAHIM Mohamed Zuhair（スリランカ）・CAM Huong Thi Lan（ベトナム） 他に保護者6人（外国の方）が通訳として参加しました。
活動の内容	前半—体育館での交流会 “世界の国からこんにちは！” ・ 講師の方の自己紹介（母国語でのあいさつ） ・ 小グループごとの交流（国旗紹介・学校生活・食文化等のお話、質問タイム） ・ 講師の方によるゲーム紹介、レクリエーション ・ 児童によるお礼の歌 後半—各学級での交流会 ・ 給食 ・ 児童による日本のゲーム紹介（折り紙、ドッジボール 等）
今回実施されたワールドキャラバンについての評価	事業に参加しての意見・感想 毎年利用し、国際理解教育に役立たせてもらっています。講師の方もいつも熱心で個性豊かで良いと思います。
生徒の感想	・ ジンバブエのゲームは日本のハンカチ落としに似ていました。みんなすぐにルールを覚えて楽しく遊べました。 ・ ガーナの人はとても背が高かったです。国旗と同じ色の布をまいていました。国旗の色ごとに意味があるって教えてくれました。握手をしてもらえてうれしかったです。 ・ タンザニアという国は初めて聞きました。動物がいっぱいいるそうです、わたしも行ってみたいです。みんなで片足で立つゲームをしました。目をつぶってがんばって立っていたら、とつぜん「ウィナー！」と言われました。優勝したと分かったらうれしかったです。

先生の感想

- ・ 給食の時間は子どもたちが研修員の方を質問攻めにして食べる時間もないほどでした。その後運動場で一緒にドッジボールをして、とても楽しく交流できました。折り紙のプレゼントもとても喜んでもらえて子どもたちもうれしそうでした。
- ・ JICA 研修員と保護者通訳が初対面だったこともあり、意思疎通が大変そうなグループもありました。そのため1回目の交流会ではゲームのルールを子どもたちに説明するのに時間がかかってしまい、遊ぶ時間が少なくなってしまうところもありました。2回目の交流会ではお互いに慣れ、遊ぶ時間も確保できて良かったです。
- ・ 5年生は総合的な学習の時間で世界の国々について調べているので、今回の交流会もとても役に立ちました。アフリカの方との交流は初めてだったので、教員にとっても新しい発見があり良かったです。

